



NEWS RELEASE

報道資料
2009年1月19日
(日本時間)

アプライド マテリアルズの革新的な SunFab™ ラインで生産された 太陽電池モジュールが IEC 認証を取得

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq: AMAT、本社: 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は1月15日 (現地時間)、薄膜太陽電池製造ライン SunFab™ Thin Film Line で生産された単接合および多接合 (タンデム型) 太陽電池モジュールが国際電気標準会議 (IEC) の 61646 規格と 61730 規格を満たし、過酷な動作環境下で厳格な性能・安全基準に適合すると認証されたことを発表しました。これにより、SunFab ラインを導入しているメーカーは製品の IEC 認証プロセスを短縮し、付加価値の高い認証済みモジュールを短期間で市場に投入することができます。

アプライド マテリアルズのシニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー (SunFab シンフィルムソーラー&ディスプレイ ビジネスグループ)、ランディア・タッカーは次のように述べています。「IEC 認証は太陽電池の標準規格として全世界で高く評価されています。同認証の取得は、お客様の成功に対する我々のコミットメントの表れであり、当社の単接合およびタンデム接合技術および一貫生産プロセスの高い性能を実証したものといたします」

IEC 認証過程では対象となる太陽電池モジュールについて、太陽光や極端な高温・低温、風雨等への年単位での暴露をシミュレートした長期的な信頼性の調査など、一連の過酷な試験が行われます。IEC 61646 規格では、薄膜モジュールについて環境条件や出力に関するテストが行われます。IEC 61730 規格では、モジュールの予想寿命全体にわたって動作の安全を確保するため、さらに電気試験と環境試験が課せられます。

SunFab モジュールの厳密な試験と認証はドイツの試験認証機関 TÜV Saarland によって実施され、単接合モジュールと高効率のタンデム接合モジュールの両方が認証を取得しました。対象モジュールのサイズは現在最も普及している 1.1m×1.3m で、SunFab ラインで加工できる 5.7m² の大型基板 1 枚からこのサイズのパネルを 4 枚採ることができます。電力事業に適した 5.7m² フルサイズモジュールの認証試験は、2009 年上半期に行われる予定です。

2007年に発表された革新的な薄膜太陽電池製造ライン Applied SunFab Thin Film Line は、構成次第で単接合とタンデム接合のどちらにも対応可能で、太陽電池の製造能力を短期間で確保できるほか、1ワットあたりの製造コストも最小限に抑えることができます。アプライド マテリアルズは、現在世界中のお客様の工場で SunFab ラインの立ち上げを進めており、うち6社はすでにパネルの製造を開始しています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは1月15日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は1979年10月に設立。大阪支店ほか12のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合 (Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831)
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
